

## 市議会の新しい構成決まる



市議会議員選挙後初めて開かれた臨時会では、議長、副議長、各常任委員会委員などを選出しました。くわしくは2面・3面をご覧ください。

## 指定廃棄物処分場建設の候補地選定の再協議を求める決議書を環境省に提出

東京電力福島第一原子力発電所事故により県内で発生した指定廃棄物の処分場候補地に、国が東京電力千葉火力発電所の敷地(千葉市中央区)を正式に選定したことについて、市議会から環境省に対し説明を求めたところ、5月20日と6月2日の2回にわたり説明がありました。

これを受けて、排出された指定廃棄物を本市で一括して保管するのではなく、県内北部の排出した自治体内でそれぞれ保管するために候補地選定の再協議を求める決議案が、第2回定例会の開会日6月8日に提出され、賛成多数(共産党は候補地選定の再協議ではなく、白紙撤回を求めるとして反対)により可決し、翌9日に議長・副議長が決議書を環境省に提出しました。



左から白鳥副議長、向後議長、小里環境副大臣

市議会ホームページの「議長・副議長」の「議会活動報告」に、決議書や環境省からの説明資料などを掲載しています。

### 詳細調査の候補地



東京電力千葉火力発電所の土地の一部(千葉市中央区)

決議では、次の理由により、排出自治体内での保管のための再協議を求めています。

- ① 大地震の発生時には処分場が破損し、水質や大気が汚染される被害が発生するおそれがあること
- ② 候補地は、住宅地に近接しており、災害発生時には多くの住民に影響が生ずること
- ③ 風評被害により、農水産業への影響・人口の減少・地価の下落のおそれがあること
- ④ 千葉市が推進している、海辺を活かしたまちづくりに大きなダメージを与えるおそれがあること
- ⑤ 候補地選定の過程が不透明であり、市民に正確な情報公開がなされていないこと